

きぬた



2025年10月1日
社会福祉法人多摩福祉会 砧保育園
世田谷区祖師谷4-3-17
03-3483-1950

「園児たちがのびのび過ごしており、先生方があたたかく子どもたちを
見守っている様子が伺え、とても良かったです」
(施設見学の感想より)



* 「さんぽ」を通して考えたこと *

暑さも大分和らいできて、ようやく長袖の出番がきたかな～というところですね。涼しくなってきたということでは、プールを中心とした水の活動はひと段落。これからはさんぽの季節となります！秋のさんぽは、夏の活動を通して体力が付いたことで行けるようになる遠くの公園との出会いにワクワク！道中も葉の色付きや木の実の発見、雲の変化、空の高さ、ひんやりして心地良い空気、バッタ・トンボ・コオロギ等の秋の虫との出会い...などなど。五感を豊かに使いながら、心にも体にも栄養を蓄えていきます！幼児になると運動会や芋ほり遠足、収穫祭り等もあり、挑戦や達成感、充実感も存分に味わえるという醍醐味のある季節ですね～！

さて、さんぽをテーマに書き始めましたが、「さんぽ」は「散歩」と書きます。意味はそのまま「散って歩く」ことですよね。今の時代は車やバイク、自転車にLOOP等、実に多様な交通手段が発達し、子どもたちが散って歩くこと自体が「危ない」ことになっている状況です。急に飛び出すと叱られます。それは命を守るために必要なことなので当然なのですが、大人の価値観を中心に作られてきた社会の中で、子どもたちが子どもらしくのびのびと過ごせる環境が急速に失われていることも事実です。子どもは急に動きたくなる特性があります。コントロールが未熟なのが子どもです。最近では公園でもボール使用禁止、花火禁止、騒音になること禁止等、がんじがらめの環境です。見事なまでに「大人まんなか社会」ですね...。興味が湧いて「やってみよう！」と急に何かをしようとするとすぐに止められがちな環境の中で、現代社会で大切だと言われる「自分で考えて挑戦し、失敗しても粘り強くがんばり続ける」力を育むことができるのでしょうか。

私たちとしては、そのような本来子どもたちが見せる姿をできるだけ静止するのではなく、そこで体験した失敗も含めて豊かな学びだと捉えています。もしかしたら、「何で先生たちはあーしても注意しないんだろう？」と疑問に感じられる方もいらっしゃるかもしれません。もちろん「放任」ではなく、折を見て「そうしてたらどうなるだろうね？」等、一緒に考えるよう働きかけることもあります。大人もそうですが、厳しく責められると萎縮してしまってその人の求める正解を探ろうとします。そこから挑戦は生まれません。失敗を赦されることで安心感が生まれ、そこから意欲が湧いてきてまた挑戦していくようになります。

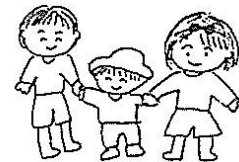
「コスパ」「タイパ」が求められる時代に、子どもたちが安心して自分らしくじっくり時間をかけながら、手間もかけてもらいながら育っていく環境を守ることは、本当の意味で「こどもまんなか社会」にするために大切な視点だと考えています。

<10月の予定>※状況により変更あり。

- 3日（金）造形
祖師谷小運動会リハ見学（らいおん）
- 7日（火）運動会総練習
- 8日（水）運動会総練習（予備日）
- 11日（土）運動会
- 15日（水）にじのおうち懇談会
- 16日（木）りすのおうち懇談会
- 17日（金）造形
- 21日（火）石狩鍋
ひよこのおうち懇談会
- 22日（水）避難訓練
- 23日（木）わらべうた（乳児・地域）
- 28日（火）秋の遠足（芋ほり）
- 29日（水）異文化交流 誕生会
- 30日（木）秋の遠足（予備日）

<11月の予定>※状況により変更あり。

- 7日（金）造形
- 8日（土）法人合同研究集会
- 12日（水）収穫祭り①
- 13日（木）きぬたん（園庭遊び）
わらべうた（幼児）
- 14日（金）収穫祭り②
- 18日（火）卒園記念遠足
乳児面談期間（～12/12）
- 19日（水）誕生会 避難訓練
砧中職場体験（～11/21）
- 20日（木）きぬたん（モグモグ離乳食）
- 21日（金）造形
- 27日（木）赤ちゃん広場



施設見学中の一コマ

今年度も入園希望者の施設見学が盛況となっています！特に今年度は枠が埋まるのが早く、予定枠がほぼ全日程埋まっている状況です。全国的には少子化ですが、世田谷区ではまだ待機児問題が残っており、「保活」も大変なことと思われます。理想的には、いつでも入りたい時に希望する園に入れるようになれば、もっと安心して子育てできるのに...と感じます。保育だけでなく、社会福祉全般が権利として保障されるようになるといいですね。

固い話はここまでにして、見学している中でのエピソードをお伝えしますね！「園全体で異年齢交流をしていて、大きい子が小さい子のお部屋に行って一緒にご飯を食べたり、お昼寝も一緒にしたりもしています」とお伝えしている矢先、らいおんさんときりんさん2名が自分の布団を取りに来て「ひよこさんのお部屋行くんだ～♪」とウキウキで2階へ上がっていききました！まさにベストタイミング！その後ひよこさんのお部屋へ行くと、先程の2名の子がひよこさんのお友だちのためにブロックで電車を作ってあげていて、「〇〇くん、できたよ～！」と渡してあげていました！もらった子も嬉しそうでしたし、あげた方も嬉しそうで、「こうやって育ちあっているんですね。異年齢保育はありがたいって言うってもらえる機会も多くなります」とお伝えすると、皆さんしみじみと頷かれました～！「百聞は一見に如かず」という言葉がありますが、実際に目の当たりにするのが一番伝わりますね。見学者の方には、「園長が色々いいことを話しても、子どもたちや職員の姿が全てです」とお伝えするようにしています。ありのままを見ていただく中で自信を持ってそう言えることが嬉しいですし、そのような保育をしてくれている職員を誇りに感じています。